



一人一人が 安心して 自分のよさを発揮できる学校

今成小だより



令和7年12月1日発行

今成小の学校研究

今成小学校の学校研究は、「特別活動」です。
3年前から取り組んでいます。

学校研究とは、教職員が校内で課題となっている分野を把握し、教育研究を通して改善を図り、最終的に子どもたちに必要な力を育成しようとする自発的な取組です。

本校では、子どもたちの**主体性**に課題が見られたことから、学級会を核に特別活動の研究に取り組み、自ら学び考え、行動する力を高めようと試みています。各研究部での協議や授業研究会を重ね、よりよい学級会のあり方を模索しているところです。



1年生の授業研究会の様子 話し合いにより合意形成する経験を繰り返し、他者との協働などを学びます。

子どもたちの未来を見据えて

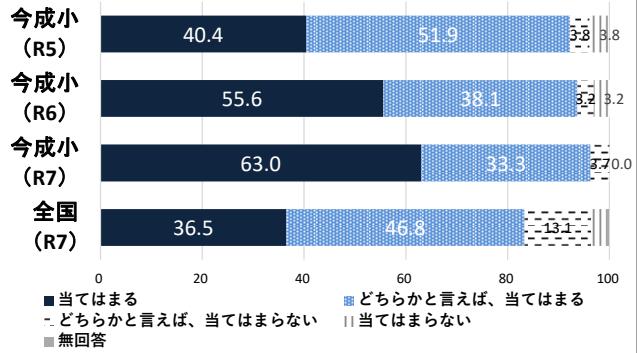
研究が始まると、学級会で自分の意見を発表し、話し合いを通じて解決方法を見出しが少しずつ増えてきました。1年生は1年生なりに、中・高学年では異なる意見にも耳を傾け、折り合いをつけながら、大変熱心に話し合う様子が見られます。最近では、その力を他の教科の学習にも生かせるようになってきました。

また、子どもたちの意識の変容は客観的な調査結果からも確認され、学級会の意義を感じる子が年々増えています。

さらに、子どもたちが自主的にアイディアを出し、自分の学級や学校をよりよくしようとする取組も活発です。例えば、各委員会では常時の活動に加え、新たな取組を次々と考え出し実行する姿が見られます。

AIが急速に進化する中で、人間がもつ創造力や共感力、社会性や協調性などの重要性は益々高まっています。特別活動を通して、大切な力を身につけながら成長していくことを切に願っています。

あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。(全国学力・学習状況調査結果より)



今年度の各委員会の児童主体の取組

[計画委員会] あいさつ運動

[放送委員会] 先生クイズ

[環境美化委員会] お掃除ピカピカプロジェクト

[図書委員会] 読書宝くじ しおり交換 図書室模様替え

[保健委員会] はちみつ運動 歯ブラシチェック 健康啓発運動

[給食委員会] 残食を減らそうプロジェクト

[代表委員会] 廊下を歩こうキャンペーン

[掲示委員会] 新しく作成した掲示物の紹介

[飼育委員会] ふれあいキャンペーン

[運動委員会] 大谷グローブでキャッチボール ギネス記録会

ほめて認めて、叱って諭し、また、ほめて伸ばす